

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	年二回の避難訓練と水害時の避難訓練は行っているが、地域の方との訓練は行っていなかった。	避難訓練をしていく中で、年に一度は地域の方と一緒に訓練を行い、いざという時に地域の方と協力して災害に供えられるようにしていく。	9月か3月の火災訓練時に地域の方と一緒に訓練を行う機会が持てるようにする。また色々な状況の避難訓練を繰り返し行い、いざという時に落ち着いて行動できるようにする。	12ヶ月
2	2,49	コロナが5類となり、地域交流の機会も増えつつあり、ボランティアさんの訪問も増えてきているが、さらに地域交流や外出活動を増やしていきたい。	今現状来て頂いている傾聴や体操のボランティアさんの訪問を継続しつつ、さらにボランティアさんの受け入れを増やしていく。地域交流、外出活動や外食活動の機会も増やしていく。	地域の感染状況を考慮しつつ、安全に外食活動や外出活動が行えるよう、企画し実行する。また民生委員さんや地域包括支援センターさんの協力をお願いしながら、地域交流する機会を増やせるようにしていく。ボランティアの受け入れ機会も増やせるようにしていく。	12ヶ月
3	20	コロナ感染防止対策のため、馴染みの人や場との関係継続の機会が減ってしまっていた。	コロナが5類に移行し、家族や友人との面会も増えてきているが、利用者一人ひとりの個別支援として、行きたい所への外出支援の機会を増やしていく	一人ひとりの要望をじっくりと聞く機会を持ち、その方々が行きたい所、会いたい人などの要望を職員が知るように努め、その要望が叶う機会を持てるように支援していく	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月